

聖書箇所:創世記15章1~6節  
『さあ、天を見上げなさい』

【1】 神の約束を信じてー過去ー

▶ 「中年期の心の危機 僕は48歳で-医師・鎌田寛さんに聞く-」 (朝日新聞 2024/09/02)

・ アブラハムに対する神の約束(参照創世記 12 章 1 節~3 節)

- 神が彼を大いなる国民とすること
- 彼を祝福する者を祝福すること
- 彼を地のすべての部族を祝福する器とすること

・ 神の約束に対するアブラハムの応答

— 「主が告げられたとおりに出て行った」 (12:4)

・ 約束を待ち続けたアブラハム

- 約束の地カナンに到着した後の飢饉(12:10)
- 甥のロトとの別れ：ロトは潤った地に向かいソドムの住民に(13:12)
- 争いに巻き込まれたロトの救出：信仰による戦利品の放棄(14:22~24)



【2】 神の約束を信じてー現在ー

・ 「これらの出来事の後、主のことが幻のうちにアブラムに臨んだ」 (15:1a)

・ 神の語りかけを聞いた途端、アブラハムに何が起こったのか？

- 長年蓄積されてきた消化し切れない思いを吐露
- 「『**神**、主よ、あなたは私に何を下さるのですか。私は子がないままで死のうとしています。』」 (15:2a)

・ アブラハムの揺れる思い

— 神の約束を待ち続けるべきか…約束を実現させるための判断が必要か

・ アブラハムが率直に自分の思いを訴えることができた理由：神への信頼

【3】 神の約束を信じてー将来ー

・ アブラハムへの神の答え

— 「あなた自身から (直訳:あなたの腹から) 生まれ出てくる者」

・ 神は思案するアブラハムを外に連れ出し、天を見上げるよう促した

— 「『さあ、天を見上げなさい。星を数えられるなら数えなさい。』」 (創世記 15:5)

・ アブラハムはただ「主を信じた」

▷ 神はアブラハムのように、私たち一人一人とも人格的な関係を築くことを願っておられます。神は、あなたの訴え、祈りに耳を傾けてくださるお方です。あなたもアブラハムのように自分の率直な思いを神に訴えてみませんか。

▷ 「恵みの高き嶺 日々わが目当てに 祈りつ歌いつ われは登り行かん」 (新聖歌 339 番)